

令和6年度

「運営に関する計画」

【最終評価】

大阪市立東三国小学校

令和7年2月

大阪市立東三国小学校 令和6年度 運営に関する計画・自己評価(総括シート)

1 学校運営の中期目標

現状と課題

- 本校は、「全ての子どもの学びを保障し、共に学び、共に育つ教育の実践」を学校教育目標とし、「やりぬく子」「協力する子」「自ら考える子」の育成に取り組んでいる。
- 教育活動アンケートにおける「学校へ行くのが楽しい」(児童アンケート)で肯定的な回答をする児童の割合は、令和2年度 88%、令和3年度 91%、令和4年度が 87%と高く、学校生活が安全で楽しく充実しているものであると考えられる。今後も、この状態を維持していきたい。
- 教員の研修に力を入れてきた結果、児童の学力については、少しずつ向上が見られ、令和3年度の小学校学力経年調査における国語科・算数科の平均正答率の対全国比は、1.0に近づいている。本校は、児童の「主体的・対話的」な学びを深めることにより学力向上が図れると考え、取り組んでいる。今後も、児童の「主体的・対話的」な学びを深めるために、教員の研修に重点を置いていく。
- 全国体力・運動能力、運動習慣等調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合が令和3年度は 47.4%と、コロナ禍にも関わらず高めだった。今後は、実際に体を動かす活動を引き続き取り入れるとともに、児童が、体を動かす楽しさがわかるように工夫していきたい。
- 本校には、大阪市より譲り受けた市電の車両があり、電車図書館として活用している。コロナ禍では、狭い空間に多数の児童が入ることや、効率的に換気ができないことから活用を中止していたが、令和4年度より再開している。今後、さらに図書に親しむ児童を育てる手立てとしたい。
- 地域や保護者との関わりについては、学校行事に対して大変協力的で、行事への地域・保護者の参加率が高い。コロナ禍で行事が中止となったり、実施しても地域や保護者の方に参加していただくことが難しかったりしていたが、今後は、行事のあり方を見直し、地域や保護者とのつながりを深めたい。

中期目標

【安全・安心な教育の推進】

- 令和7年度の小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思う」および本校教育活動アンケート(児童アンケート)における「学校が楽しい」の項目について、肯定

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 令和7年度の小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」の項目について、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を45%以上にする。
- 令和7年度の小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」の項目について、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を60%以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

- 令和7年度の小学校学力経年調査における「学校の授業時間以外に、ふだん（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、読書を読みますか（教科書や参考書、まん画や雑誌は除く）。」に対して、10分以上の回答する児童の割合を80%以上にする。
- 令和7年度教育活動アンケート（保護者アンケート）における「学校は、地域の人材や施設などを活用した活動に取り組んでいる」の項目について、肯定的な回答の割合を

2 中期目標の達成に向けた年度目標

【安全・安心な教育の推進】

学校園の年度目標

- ・ 小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「そう思う」と回答する児童の割合を82%以上にする。
- ・ 小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を88%以上にする。
- ・ 教育活動アンケート（保護者アンケート）における「学校は命や人権を尊重する態度を育てる取り組みを行っている」において、肯定的な回答の数値を90%以上にする。
- ・ 教育活動アンケート（児童アンケート）における「たてわり班で、みんなと協力して活動している」において、肯定的な回答の数値を96%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

学校園の年度目標

- ・ 小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を 40%以上にする。
- ・ 小学校学力経年調査における国語の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より 0.02 ポイント向上させる。
- ・ 小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」を回答する児童の割合を 68%以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

学校園の年度目標

- ・ 授業日において、児童の 8 割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の 50% 以上にする。
- ・ 年次有給休暇を 10 日以上取得する教職員の割合を 86%以上にする。
- ・ 教育活動アンケート（児童アンケート）における「週に 1 回以上、本に慣れ親しんでいる」において、肯定的に回答する児童の割合を 60%以上にする。
- ・ 教育活動アンケート（保護者アンケート）における「学校は、地域の人材や施設などを活用した活動に取り組んでいる」の項目について、肯定的な回答の割合を 90%以上にす

(様式2)

大阪市立東三国小学校 令和6年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【安全・安心な教育の推進】 学校の年度目標 <ul style="list-style-type: none"> ・小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「そう思う」と回答する児童の割合を82%以上にする。 ・小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を88%以上にする。 ・教育活動アンケート（保護者アンケート）における「学校は命や人権を尊重する態度を育てる取り組みを行っている」において、肯定的な回答の数値を90%以上にする。 ・教育活動アンケート（児童アンケート）における「たてわり班で、みんなと協力して活動している」において、肯定的な回答の数値を96%以上にする。 	B

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【1 安全・安心な教育環境の実現】 本校の学校教育目標ならびに学校安心ルールの4つの「めざす子ども像」のもと、全教職員が協働し、児童が落ち着いて学習に取り組むことができる環境を整備する。	B
指標 児童の生活指導面における全体協議の場を月1回以上行い、教職員間で児童の現状と指導の結果を情報共有する。	
取組内容②【1 安全・安心な教育環境の実現】 いつ起こるかかわからない災害等に備え、児童・教職員・保護者が防災の意識を高められるようにする。	B
指標 さまざまな状況を想定した避難訓練を年3回実施する。また、1学期中に災害等を想定した保護者引き渡し訓練を行う。	
取組内容③【2 豊かな心の育成】 「自分を大切にし、他の人も大切にできる」子どもの育成をめざした人権教育を推進する。	B
指標 各学年の年間指導計画をもとに、人権教育の取り組みを毎学期行う。	

<p>取組内容④【2 豊かな心の育成】 たてわり班活動や異学年との交流を通して、互いに助け合う集団を育むとともに、高学年児童は周囲の手本になれるよう意識づけを行う。</p> <p>指標 たてわり班による異学年交流を毎月実施し、たてわり班で行う学校行事を毎学期設定する。</p>	A
<p>取組内容⑤【2 豊かな心の育成】 発達障がいに関する研修を重ね、インクルーシブ教育推進スタッフや巡回相談の活用による教職員・児童・保護者等に対する支援体制を構築する。</p> <p>指標 合理的配慮の観点をもとにした「個別の教育支援計画」と「個別の指導計画」を作成し、年間を通じて3回見直しを行う。</p>	B
<p>取組内容⑥【2 豊かな心の育成】 演劇や音楽などの優れた芸術を鑑賞することで、児童の豊かな情操を養い、芸術を愛する心を育てる。</p> <p>指標 多様な芸術を鑑賞できるように計画し、劇団などを招いた演劇や音楽の鑑賞会を年に1回以上実施する。</p>	A
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
<p>学校の年度目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「そう思う」と回答する児童の割合を82%以上にする。 3年 90.2% 4年 88.1% 5年 100% 6年 73.5% 平均値 87.95% 達成状況○ ・ 小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を88%以上にする。 3年 94.1% 4年 88.1% 5年 83.7% 6年 73.6% 平均値 84.88% 達成状況× ・ 教育活動アンケート（保護者アンケート）における「学校生活を通して、子どもの命や人権を尊重する態度を育てる取り組みを行っている」において、肯定的な回答の数値を90%以上にする。 $43.3+53.0=96.3\%$ 達成状況○ ・ 教育活動アンケート（児童アンケート）における「たてわり班で、みんなと協力して活動している」において、肯定的な回答の数値を96%以上にする。 $81.4+14.9=96.3\%$ 達成状況○ 	
<p>取組内容</p> <p>① 児童の生活指導面における全体協議の場を月に1回設け、児童の課題や経過、対応、事後の様子についての情報共有をすることができた。共有した情報をもとに、全教職員で個々の児童に合わせた対応をすることができた。</p> <p>② 1学期には『火災からの避難』『保護者への引き渡し』、2学期には『地震・津波からの避難』『不審者からの避難』の訓練を実施した。実施の際には、想定されていることや避難方法、訓練の目的について児童の実態に応じて説明し、緊張感を持って取り組ませることができた。また、6年生は防災士の方をゲストティーチャーに招き、災害時の行動や対策、避難所</p>	

の様子などについての講話をしてもらった。教職員へも『不審者への対応の仕方』の研修を警察の方を招いて実施した。

- ③全校としては5月に「いじめについて考える週間」、12月に「人権学習週間」を設定し、2月に実践報告会を行った。車いす体験や外部講師による講話、絵本や人権教育教材集を用いた授業実践など、各学年単元、実態に応じた取り組みを例年以上に行うことができた。
- ④毎週児童集会を行い異学年児童同士の交流を深めることができた。学校行事では1学期「スクールフェスティバル」2学期「学校遠足」3学期「卒業を祝う会」などを実施し、活動を通して互いに助け合う集団を育むとともに、高学年児童は周囲の手本としての姿を低学年児童に示すことができた。
- ⑤支援体制構築のために、巡回指導（前期・後期）やインクルーシブ教育推進スタッフによる支援を活用し、情報共有できるようにした。「個別の教育支援計画」と「個別の指導計画」については、計画に従って作成・見直しを行うことができた。
- ⑥学校全体として3回、出前授業（5年）として1回実施することができた。オーケストラや影絵を使った劇など多様な芸術に触れることができた。

次年度への改善点

- ①情報を共有する場を次年度も継続する。共有した情報を生かし、全教職員が学校として一貫した対応をしていく。
- ②今後も様々な場面を想定して訓練を計画・実施していく。保護者や地域も含めた防災訓練を企画する。
- ③来年度も同じように取り組みを実施する。より深めていくために良い教材、実践などは共有していく。
- ④たてわり班活動や異学年交流は次年度も継続する。ただ、活動については実施する内容を選定する必要がある。「交流給食」は、アレルギーの問題もあり実施しない。
- ⑤情報共有のためのより良い方法を工夫すること。学級担任と特別支援担任の連携を深め、情報共有のためのより良い方法を工夫すること。また、通級に関する研修を実施すること。「個別の教育支援計画」と「個別の指導計画」については、引き続き、計画に従って作成・見直しを行う。
- ⑥様々な芸術に触れることができるよう出前授業も含め、検討していく。

(様式2)

大阪市立東三国小学校 令和6年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【未来を切り拓く学力・体力の向上】 学校園の年度目標 <ul style="list-style-type: none"> ・小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を40%以上にする。 ・小学校学力経年調査における国語の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.02ポイント向上させる。 ・小学校学力経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」を回答する児童の割合を68%以上にする。 	A

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【4 誰一人取り残さない学力の向上】 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業づくりの研鑽を続ける。 ----- 指標 授業づくりや教科の専門性を高める研鑽を続けるよう、授業研究会を年間3回実施する。	B
取組内容②【4 誰一人取り残さない学力の向上】 「広げ・深まる授業」をめざし、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業力を向上させる研修をする。 ----- 指標 授業づくりの質を向上させるために、年間5回の研修会を実施する。	B
取組内容③【5 健やかな体の育成】 健康週間の実施、学級での指導、保健啓発、委員会活動を通して健康的な生活習慣が身につくように指導する。 ----- 指標 健康に対する児童への意識づけを図るために、健康委員会で毎月1回の健康調べを行い、学期に1回の健康週間ではふりかえりカードを活用し、自身の健康や生活習慣について振り返る。	B
取組内容④【5 健やかな体の育成】 体育科の授業の充実や休み時間に積極的に運動場で活動し、意欲的に体力づくりに取り組めるようにする。 ----- 指標 年3回以上の「かけ足週間」や「なわとび週間」等の取り組みを、運動委員会と連携して実施する。	B

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

学校の年度目標

- ・小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を 40%以上にする。

3年 60.8% 4年 42.9% 5年 50.9% 6年 58.8% 平均値 53.35%

達成状況○

- ・小学校学力経年調査における国語の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より 0.02 ポイント向上させる

	国語（本校／全国平均正答率）		達成状況
	R 5	R 6	
現 4 年	0.86	1.01	○
現 5 年	1.00	1.09	○
現 6 年	1.04	1.06	○

- ・小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」を回答する児童の割合を 68%以上にする。

3年 76.5% 4年 64.3% 5年 74.5% 6年 64.7% 平均値 70.0%

達成状況○

取組の進捗状況

- ①計画通り、授業研究会を年間 3 回実施し、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業づくりを行うことができた。
- ②国語の教材分析会や他教科の専門性を高めるための研修を年間 5 回以上実施し、学びを深めることができた。
- ③年間を通して同じ目標で自身の健康や生活習慣を振り返る機会を重ねることで、児童の健康に対する意識を高める効果が見られた。
- ④運動委員会が主体となって計画通りに取り組み、児童の体力づくりに対する意識を高める十分なきっかけをつくることができた。

次年度への改善点

- ①授業者だけでなく、それぞれの部会で協力しながら話し合っ取り組んでいく。
- ②引き続き、主体的に研修に参加して学んでいく。ニーズに合った研修会を企画したり、より専門性の高い外部の講師を招いて研修会を行ったりする。

- ③学級で継続した指導がしやすいように、実施時期や教材を工夫するとともに、「ふわふわ言葉」は日常の中でも意識していくような声かけをしていく。
- ④より多くの児童が運動に親しめるように、普段から何気なくできる道具を置いた場所の設定や、企画を考えていく。

(様式2)

大阪市立東三国小学校 令和6年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準	A:目標を上回って達成した	B:目標どおりに達成した
	C:取り組んだが目標を達成できなかった	D:ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【学びを支える教育環境の充実】 学校の年度目標 <ul style="list-style-type: none"> ・授業日において、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の50%以上にする。 ・年次有給休暇を10日以上取得する教職員の割合を86%以上にする。 ・教育活動アンケート(児童アンケート)における「週に1回以上、本に慣れ親しんでいる」において、肯定的に回答する児童の割合を60%以上にする。 ・教育活動アンケート(保護者アンケート)における「学校は、地域の人材や施設などを活用した活動に取り組んでいる」の項目について、肯定的な回答の割合を90%以上にする。 	B

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【6 教育DXの推進】 学習者用端末を用いた学習や活動を充実させ、ICT教育の推進を図る。 <hr/> 指標 心の天気を、登校時と下校時に付ける。	B
取組内容②【7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】 教職員の適切な勤務状況を維持し、超過勤務にならない工夫を模索しつつ、適度にゆとりが持てるような働き方に努める。 <hr/> 指標 学校閉庁日を年間6日以上設ける。	B
取組内容③【8 生涯学習の支援】 学校図書館、電車図書館を定期的に開館し、「読み聞かせ」については地域ボランティアの協力を得る。大阪市の施策「特色ある図書館活用」を踏まえながら地域の力も活用する。 <hr/> 指標 昼休みの図書館開放を週に3回行う。また、地域ボランティアの方による「読み聞かせ」の取り組みを、毎学期、計画・実施する。	B
取組内容④【9 家庭・地域等と連携・協働した教育の推進】 米作り体験学習など地域人材を活用し、児童の学びを支える教育環境を地域とともに充実させる。 <hr/> 指標 家庭・地域と連携・協働した教育活動を学年ごとに計画的に実施する。	B
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	

学校の年度目標

- ・授業日において、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の50%以上にする。

4月78.0% 5月74.6% 6月77.4% 7月90.2% 8月88.3% 9月89.1%
10月82.5% 11月81.9% 12月84.4% 1月85.0% 平均70.0%

達成状況○

- ・年次有給休暇を10日以上取得する教職員の割合を86%以上にする。

86.2~89.7% 達成状況○

- ・教育活動アンケート（児童アンケート）における「週に1回以上、本に慣れ親しんでいる」において、肯定的に回答する児童の割合を60%以上にする。

71.1+18.3 89.4% 達成状況○

- ・教育活動アンケート（保護者アンケート）における「学校は、地域の人材や施設などを活用した活動に取り組んでいる」の項目について、肯定的な回答の割合を90%以上にする。

40.7+40.7 81.4% 達成状況×

取組の進捗状況

- ①心の天気を登校時、下校時に入力するように意識づけをしてきたことで、習慣化してきた。一方で、まだ習慣化していなかったり、つけ方が違ったりしている学級もある。デジタルドリルやタイピング、発表のまとめなどでのICT機器の活用をしている。
- ②学校閉庁日を7日設けた。
- ③昼休みの図書館開放や地域ボランティアによる読み聞かせも計画的に実施された。読書週間などの図書委員会のイベントに、児童は楽しそうに参加していた。
- ④各学年の実態に合った教育活動を家庭・地域と連携・協働し計画的に実施した。むかしあそび、えきたんけん、ピカピカ東三国、公園清掃などの活動を実施したり、子どもたちが地域の方にあいさつをしたりと、つながりが深まってきている。

次年度への改善点

- ①一部データの活用も進めているが、今後データ活用を進めることができるようにするためにも、子どもの活用が100%にできるように、継続して取り組んでいく。シール外れや故障することがないように、ていねいな扱い方や使い方の徹底を低学年から積み上げていく。
- ②閉庁日やゆとりの日が設定されていても、仕事量の調整がなされないと、ゆとりある働き方

とは言えない。新しい取り組みが次々に入ってきているので、学校行事、学年行事を見直して規模縮小や廃止の検討をすすめていく。

③読み聞かせのボランティアの人員不足が深刻化している。実態に合った実施方法を考えていく。

④地域や家庭との連携した取り組みの良さや意義について、家庭や子どもたちにもっと伝えつつ、活動の在り方を工夫していく。